

## 令和 5 年度千歳市地域公共交通活性化協議会事業計画

### 【令和 5 年度事業概要】

#### 1. 千歳市地域公共交通活性化協議会の運営

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき、地域公共交通計画の策定及び計画に位置付けられた事業の実施等に必要な協議を行うため、定期的な会議を開催する。

#### 2. 千歳市地域公共交通計画に基づく各種取組

##### (1) バス路線の見直しや公共交通利用環境の整備

- ・千歳駅前広場再整備事業(西口広場ロータリーの整備、キッチンカーの社会実証実験)
- ・桜木長都線の通年試験運行の実施
- ・乗降調査の実施(4月、12月)
- ・バスロケーションシステムの管理
- ・乗継チケットの発行
- ・千歳市シルバーおでかけパスの発行

##### (2) 利便性・採算性・公共性のバランスを考えた運行体制の構築

- ・千歳市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定
- ・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価

##### (3) 利用者の属性に応じた公共交通利用促進策の実施

- ・路線バス運行情報配信システムの機能向上

##### (4) 行政と交通事業者が連携した若い世代へのPR

- ・バス事業者の現状や乗務員不足等の課題解消、利用促進に係る情報の発信(市公式SNS等)

##### (5) 情報発信の強化などによる公共交通意識の醸成

- ・ノーカーデー推進強化期間の取組について、企業との連携の検討
- ・路線バスの利用促進に向けたPR、各種取組(バスの日記念イベントの実施、その他イベントへの出展など)
- ・公立千歳科学技術大学と連携した路線バスに関する取組

##### (6) 多様な交通手段の活用に向けた関係機関との継続的な協議

- ・自動運転バスの視察(上士幌町)

# 千歳市地域公共交通計画に基づく 各種取組について（令和5年度）

## 社会実証実験の継続について

昨年の11月～12月にかけて、千歳駅東口広場における賑わい創出に向けた取組の一環として、キッチンカー営業の社会実証実験を行いました。  
実施後に行ったアンケートでは夏季の実施を望む声が多数寄せられたことから、今年度については、7月～8月の1か月間に実施することとします。



令和4年度キッチンカー社会実証実験の様子(千歳駅東口広場)

### < 実施概要 >

開催日程：令和5年7月14日～8月18日

開始時期を「スカイ・ビア&YOSAKOI祭（7月15日）」や「空と川のOUTDOORFESTIVAL（7月29日）」の開催に合わせ、相乗効果を図ることとする。

開催場所：千歳駅東口広場  
(まちライブラリー前)

出店事業者募集期間：6月5日～7月5日

※参考（昨年度実績）

期間：令和4年11月23日～12月25日  
(うち19日間)

出店事業者：18事業者

# 路線バス運行情報配信システムの機能向上

## ▶ 地図表示機能・運賃表示機能の追加

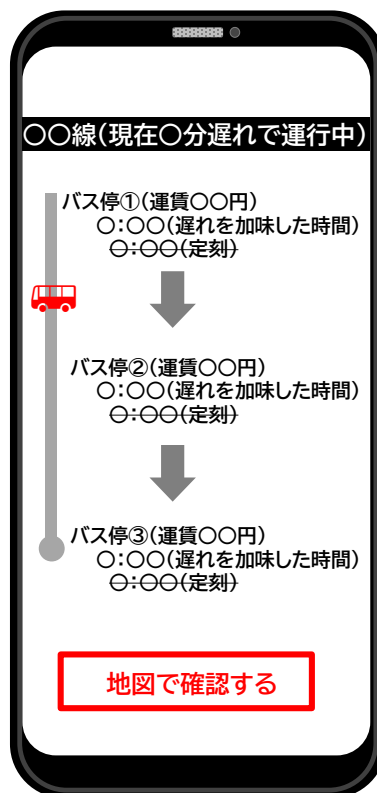
令和5年度は、本システムの利便性を更に高めるため、次の機能を追加予定です。

- ▶ 運賃・目的地到着時間表示機能
- ▶ 地図上での運行経路表示機能

## 追加機能イメージ図

定刻	路線<行き先>	運行会社	運行状況
12:40	12:泉沢向陽台線 (市民病院前行) (市民病院前行)	千歳相互	通常運行
12:53	14:図書館青葉線 (図書館前行)	千歳相互	通常運行
12:55	11:泉沢向陽台線 (泉沢向陽台行) (千歳リハ大学前行)	千歳相互	約3分遅れ
12:56	千歳線 (あつま) (千歳駅前)	あつまバス	—
12:57	空5：大和線 (新千歳空港・国際線)	中央バス	通常運行
12:59	空6：空港市内線 (本町2丁目)	中央バス	約1分遅れ
13:04	1：樺木線 (千歳駅前)	中央バス	運行前
13:08	2：樺木線 [市民病院経由] (千歳駅前)	中央バス	約3分遅れ
13:10	12:泉沢向陽台線 (市民病院前行) (市民病院前行)	千歳相互	約1分遅れ
13:10	30 千歳空港線 (苫小牧駅前)	道南バス	現在情報を取得中

具体的な運行情報  
が知りたい路線を  
タップ



地図上で  
運行経路を  
確認可能



## 市民に対する公共交通の情報発信

### 市内路線バスの概要

#### 運行状況

本市の公共交通の主軸となっている市内路線の路線には、**1** 千歳線や千歳線南支線など路線網が広く、**2** 路線バス事業者が4社（北海道中央バス・千歳相互観光バス・通商バス・あつぱバス）により16路線 27系統、312便/日（土日祝日）が運行しています。

#### 利用促進

- 市独自の運賃制度  
子小1乗り100円！  
約1.3kmまでの乗車の場合、運賃はいつでも62円8100円
- 高齢者割引  
1千歳線1回（市内全域）でバス乗車1回が1回の日乗車割引です。  
2千歳線1回（市内全域）でバス乗車1回が1回の日乗車割引です。  
3千歳線1回（市内全域）でバス乗車1回が1回の日乗車割引です。  
4千歳線1回（市内全域）でバス乗車1回が1回の日乗車割引です。  
5千歳線1回（市内全域）でバス乗車1回が1回の日乗車割引です。
- シルバーおたけ巴士  
75歳以上の千歳市民が利用できます。  
乗車料1回100円（乗車料1回100円）  
乗車料1回100円（乗車料1回100円）  
乗車料1回100円（乗車料1回100円）

#### ちとせバスマップ

#### バス事業者の現状

### 路線バス事業を取り巻く状況と対応

#### 1 全国の現状

全国的に路線バス利用者の数は減少傾向にあり、令和4年の時点で約30%まで減少している。今後ますます高齢化社会が進む中で、高齢者の移動手段として、路線バスがますます重要な役割を果たすことが求められている。

#### 2 千歳市の現状

千歳市の路線バス利用者の数は減少傾向にあり、令和4年の時点で約30%まで減少している。今後ますます高齢化社会が進む中で、高齢者の移動手段として、路線バスがますます重要な役割を果たすことが求められている。

#### 3 乗務員不足の現状

全国的に乗務員不足の傾向が顕著であり、千歳市でも乗務員不足の傾向が顕著である。乗務員不足は、路線バスの運行に大きな影響を与えている。

#### 4 公共交通計画の策定

本市では、平成28年3月に「千歳市地域公共交通発展計画」を策定し、千歳市域内の公共交通の発展を促進するための取組を進めている。

### 市内路線バス情報発信強化の取組

#### 1 千歳市の取組

- 千歳市内路線バス、運行情報配信システム  
Webページで、「バス停ごと」の運行時刻や遅れ情報をもっとも確認できるシステムを整備。
- 路線バス運行情報配信システム  
バス利用者の多いバス停の周辺施設（市内7カ所）に、路線バス運行情報を表示するデジタルサイネージを設置。

#### 2 北海道中央バス、千歳相互観光バスとの取組

- 路線バス運行情報の統一規格化（GTFS※）  
路線バスの運行情報を統一規格化して、インターネット上に公開することにより、バス情報の利活用を促進する。
- 統一規格化（GTFS※）のイメージ  
各バス事業者が運行情報を提供するためのデータフォーマットを統一する。
- GTFS化のメリット  
1 バス事業者の規模に関わらず、各種路線検索サイトで検索が可能になる！（例：Google マップやYahoo!乗車券等）  
2 統一規格化により、多様な活用ができる！（例：千歳市内路線バス運行情報配信システム）  
3 バス事業者が運行情報を提供しやすくなる。（例：正確な時刻や遅れ情報）  
4 バス事業者の業務の効率化が図れる！

#### 3 北海道中央バス

- Webページで、「バス停ごと」の運行時刻や遅れ情報をもっとも確認できるシステムを整備。
- 千歳相互観光バス

市民に対して、公共交通の利用促進の取組やバス事業者の現状、乗務員不足の課題など、公共交通に係る各種情報について、市公式SNS等を活用して周知を図ります。

## ノーカーデーの取組の拡充

北海道で実施しているノーカーデーの取組と連携し、日常的に自動車通勤している職員を対象に、取組期間中（9月中旬～10月下旬）において、公共交通や徒歩、自転車など、自動車以外の通勤手段に無理のない範囲で見直す取組を実施しています。

今年度においては、公共交通の需要拡大と利用定着を推進するとともに、低炭素型ライフスタイルの更なる普及を図るため、企業と連携し、実施することを検討します。



みんなで乗れば、  
未来が変わる。

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

### < 令和4年度実績 >

実施期間：令和4年9月20日～10月30日

取組実施職員：53名

取組効果（CO2削減効果）：463.8キロ

取組総日数：451日

(仮称)路線バスに乗って行こう!「空港バックヤード探検隊」の開催

<p>事業目的</p>	<p>バスの乗車方法がわからない、日常的にバスの乗車機会がない親子連れを対象に、路線バスに乗車してもらう機会を提供し、日常的なバス利用のきっかけを作る。</p>
<p>事業概要</p>	<p>当日の対象となる便に市職員が同乗し、利用者に対し、バスの乗り方を説明しながら乗車の補助を行う。また、参加者に対しては、当日の空港のバックヤードツアーについて、割引を受けられる特典を付与する。</p>
<p>費用負担</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地における参加者のバックヤードツアー参加料を当協議会で負担する（参加者から半額を徴収する）。</li> <li>・路線バスの乗車を体験してもらう都合上、バス運賃は自己負担を基本とする。</li> </ul>
<p>日時/行先</p>	<p>令和5年9月17日（日） 8：30～15：00 / 新千歳空港</p>
<p>募集定員</p>	<p>親子13組（26名程度）</p>
<p>周知方法</p>	<p>生活情報誌ちゃんと掲載、市ホームページ掲載</p>
<p>見学内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備器材庫の見学</li> <li>・バックオフィス&amp;ステーションオペレーションのお仕事紹介</li> </ul>



## ちとせ消費者まつり2023

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント来場者に対し、路線バスを身近に感じてもらう機会を提供し、日常的なバス利用のきっかけを作る。</li> <li>・バス事業者とともに出展し、路線バスに関する相談コーナーを設けることで、乗車に対する不安解消を図る。</li> </ul>
日 程	令和5年10月14日（土）
会 場	北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）
内 容	路線バスの現状等を掲示するパネル展、路線バスに関する相談コーナー

## サイエンス&アーツカフェinちとせ

事業目的	子どもやその親等に対し、路線バスを身近に感じてもらう機会を提供し、日常的なバス利用のきっかけを作る。
日 程	令和6年2月（予定）
会 場	千歳水族館2階学習室
内 容	路線バスのペーパークラフト作成体験、路線バスマップ、時刻表等の配布



## 公共交通の利用促進につながる取組の協働事業

### 令和3年度事業



バスマップの作成



路線バスの乗り方ガイドの作成

見やすい表示／見やすい案内／わかりやすい料金体系について考える



高齢者のニーズに基づいた路線バス施策の検討

### 令和4年度事業

#### 調査結果<長都駅・待合室>

##### ■ 視覚表示設備

- 設備付近のピクトグラムが不十分
- トイレの場所を示すピクトグラムが遠方からでは死角



##### ■ 視覚障害者誘導案内設備

- ブロックが不十分な箇所が何箇所かあったため、ブロックの連続性が無い。



千歳市内にあるJR各駅のバリアフリー整備に関する調査

## 2. 作成した動画②

### (3)対象年齢の説明をわかりやすく示す

具体例や数直線を用いることで、発行・利用可能な時期をわかりやすく示した。



シルバーおでかけパスの利用方法等に関する動画制作

※令和5年度の取組内容については、現在同大学小林研究室と協議中です。

## 先進事例の調査・研究

### 【目的】

次世代モビリティサービスに向けた調査研究

### 【視察の主旨】

自動運転技術については、積雪寒冷地における導入が課題となっている中、上士幌町では、令和5年度から、道内初となる完全無人の自動運転による運行が開始される予定（令和4年度冬期は、有人による自動運転で運行）であるため、現地視察へ赴き、担当者と直接情報交換を行い、将来的な活用に向けた参考とするため、先進事例の調査研究を行うもの。

### 【日程】

令和5年10月（予定）

※視察には、協議会委員の中から数名にご参加いただき、実際に自動運転車両に乗車体験も行いつつ、担当者に話を伺うことにより、自動運転バスの知識を深め、将来の公共交通のあり方について考えていきたいと思っています。

